

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス事業所 未来塾デираくば		回答数 /職員数	7件 /7名中	公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		プレイルームや会議室を使用できているためスペースと人数の関係としては適切ではと考える。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		送迎等で一時的に手薄になることはあるが、全体で見た時の配置数は問題ないとする。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		必要に応じて適切に対応できている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・会議等で一時的に使用できないこともあるが、活動内容に合わせて空間設計ができていると考える。 ・毎日掃除をしており清潔な環境を保っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・静養室や休憩スペースとして別室を使用できている。 ・プレイルームなどで休憩できるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	集計・公表後、年度初め早い段階でミーティングや申し送り等にて内容の共有や改善に向けた意見交換を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	支援時や業務遂行時に業務の負担感の聞き取りを行い、修正を試みている。	時短職員もいる為、全部の意見を拾えている訳ではないと思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		第3者による外部評価は実施できていない。R8年度までに検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		経験年数や保有する資格状況を見て適宜研修への案内がある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。	7			
	13	個別支援計画書を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	個別支援計画書が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	個別支援計画書には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス事業所 未来塾デイらくば		回答数 /職員数	7件 /7名中		公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
適切な 支援の 提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	7				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	休校日の活動時は事前に役割分担を決めて実施し、開校日の利用については送迎の状況を見ながら適宜割り振れている。		送迎等で打合せ時に不在になる事がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7		①自立支援と日常生活の充実のための活動、 ②創作活動、③地域交流の機会の提供、 ④余暇の提供、の4項目を組み合わせで行っている。		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7				
関係機 関や保 護者 との連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		保護者とのLINEや職員間でのグループLINEなどを使用して適宜相談や対応を行っている。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1			担当の相談支援専門員から情報を貰うことが多く、事業所間での情報共有は少ないと感じる。 就学前の保育連携はないため、相談支援員と協議しR8年度に年2回程度実施する予定。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1			必要であれば実施するが、現段階では実施できていないと感じる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1			必要であれば実施するが、現段階では実施できていないと感じる。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6			実施している他放デイと情報共有し検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7				
保 護 者 へ の 説 明 等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	家族支援プログラムは実施していないが、適宜地域で開催の研修や茶話会の案内の情報提供を行っている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
	38	「個別支援計画書」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか。	7				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス事業所 未来塾デイらくば		回答数 /職員数	7件 /7名中		公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7				
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		事業所の行事内容が外に開かれた内容のものを実施・開催できていない。 福祉協議会等の交流会の実施を検討している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			マニュアルは策定されているが、不足している内容もある様に感じる。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	保護者より事前に連絡があり代替物で行事に参加するケースがあった（その為医師に指示書に基づくケース自体がない）。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			必要な研修は行われているが、不足している内容もある様に感じる。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。	7					